



ちきゅう見聞録

～ 香大生 around the world ～

奥嶋涼太
さんは
見た!

Vol.11 ミャンマー



現在、私はミャンマーで唯一の獣医大学、University of Veterinary Scienceにきています。ここで私は**鶏の飼育衛生環境を調査**しています。ミャンマーの獣医という強力なコミュニティの協力を得て、本来は立ち入りの難しい大型の鶏舎で主としてダニの調査を行っています。

面白かったのは、生産された畜産物を軍に所属する人だけが食べる軍専用の鶏舎があったことです。軍専用というだけあり、消毒や掃除等の衛生管理はなされており、日本と同じぐらいの水準で管理がなされていました。



- ◎農学部農学研究科
- ◎トビタテ! 留学JAPAN 地域人材コース第9期生
- ◎2018年8月から19年1月まで タイ、ミャンマーで調査研究中



敬虔な仏教国

人口の約9割が仏教徒であるミャンマーでは仏教が深く信仰されています。

首都ネピドーの真っ暗な道路を走っていると、燦爛と輝く**ウツパタサンティ・パゴダ**が見られ、街に何もないのが一つの演出に思えてきます。パゴダとは仏塔を意味し、ウツパタサンティ・パゴダはネピドーで最も有名な仏塔です。

友人の話によると研究で忙しくても、月に一度は時間をつくって参拝するそうです。



【面積】 約68万km²

【人口】 5141万人 (2014年)

【首都】 ネーピドー

【民族】 ビルマ族 (約70%) その他多くの少数民族

【言語】 ミャンマー語

【宗教】 仏教(90%)、キリスト教、イスラム教等

「アジア最後のフロンティア」

実は英国から独立した当初、ミャンマーは東南アジアで最も豊かでいち早く発展すると期待されていました。しかし、社会主義政権の樹立後、東南アジアで最も貧しい国になってしまいました。2011年ようやく民主化を果たしたミャンマーは、その可能性の大きさから「アジア最後のフロンティア」と呼ばれています。

私は2006年に新首都となったネピドーに滞在しています。ここには政府関係の施設が少なく、片側3車線ある道路は異様と言えます。近くのマーケットにはゴールドチェーンも無いことから、フロンティア感が伺えます。

日本人魂が甦るネピドー

民主化してから間もないミャンマーでは外資系の店は少なく、ネピドーともなると数えるほどしかありません。それでもネピドーは**日本食レストラン**が一つだけあるので、日本食が恋しくなればここに行くことをお勧めします。



また、ネピドーには**温泉郷**のようなものがあります。川沿いには温度の違う温泉がいくつもつくり、お気に入りを見つけることができます。ミャンマーでは水のシャワーが基本で、久々の温泉はお湯のありがたみを実感させてくれました。

